BIHOKU SHINKIN BANK REPORT SEP.2025

備北信用金庫ディスクロージャー誌（2025年9月）

豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫

ご あ い さ つ

平素より備北信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

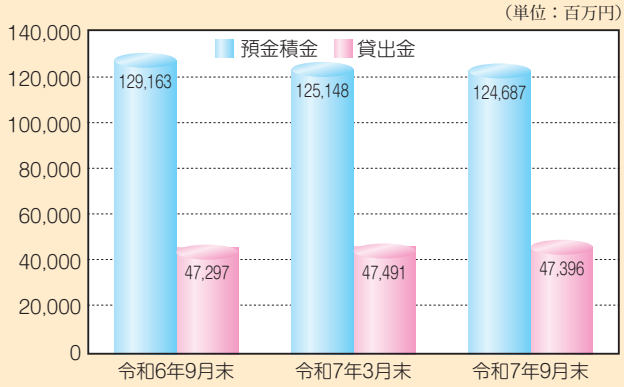
この度、みなさまに備北信用金庫をよりご理解いただくために「2025年９月期　ディスクロージャー誌 BIHOKUSHINKIN BANK REPORT」を作成いたしましたのでご高覧ください。

備北信用金庫は、地域で一番最初に相談していただける金融機関を目指しております。今後もより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

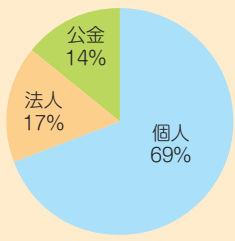
理事長　岡田　誠治

預金・貸出金の残高推移

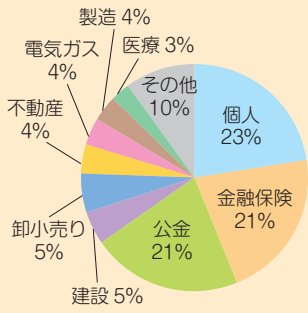
（単位：百万円）



預金者別預金残高の構成

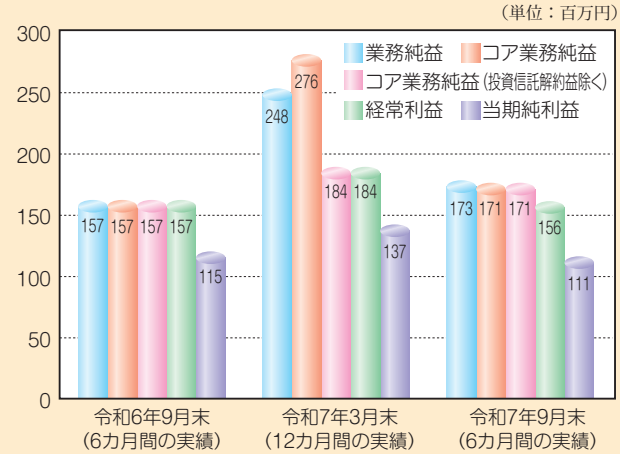


業種別貸出残高の構成



収益の推移

（単位：百万円）



政策金利が引き上げられる厳しい経営環境のもと、収益の確保のため融資力強化に努めるとともに、預かり資産の増強にも努め、余裕資金は安全な運用を心掛け、厳格な償却・引当を実施した結果、令和７年９月期は当期純利益111百万円を計上することができました。

※業務純益……金融機関の業務に係る利益を示しています。
※コア業務純益…業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益）の影響を除いたもので、金融機関の基本業務による収益力を示しています。
※経常利益……業務純益に業務外の損益を加減し、経常的な営業活動の成果を示しています。
※当期純利益……経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

有価証券の状況

その他有価証券で、時価のあるもの

（単位：百万円）

	令和7年3月末残高				令和7年9月末残高			
	貸借対照表計上額	評価差額			貸借対照表計上額	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	17,199	▲765	305	1,070	16,564	▲785	336	1,121
株　式	399	303	305	1	415	335	335	0
国内債券	14,904	▲985	0	986	14,240	▲1,050	0	1,051
外国証券	1,831	▲70	—	70	1,835	▲65	—	65
投資信託	64	▲12	—	12	73	▲3	1	4

満期保有目的の債券で時価のあるもの

（単位：百万円）

	令和7年3月末残高				令和7年9月末残高			
	貸借対照表計上額	含み損益			貸借対照表計上額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的債券	13,417	▲1,271	18	1,290	13,147	▲1,406	13	1,420
国内債券	11,218	▲1,113	13	1,127	10,948	▲1,238	7	1,245
外国証券	2,198	▲157	5	163	2,198	▲168	6	174

時価のない有価証券の内容と貸借対照表計上額

（単位：百万円）

内　容	令和7年3月末	令和7年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
その他有価証券非上場株式	208	208
その他有価証券組合出資金	4	3

当金庫では「信用金庫の日」に因んだボランティア活動を各営業店で行っています。本部・本店営業部・下町支店合同で国道180号線沿いの歩道の草取りを行いました。

金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	令和6年9月末残高	令和7年3月末残高	令和7年9月末残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	367	450	406
危険債権	1,035	842	803
要管理債権	5	5	5
正常債権	46,165	46,450	46,448
合　計	47,574	47,748	47,664

注1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

注2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

注3.「要管理債権」とは、「３カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

注4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

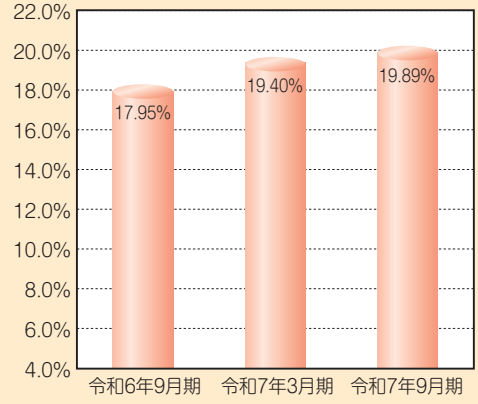
当金庫の自己資本比率について

（単位：百万円）

バーゼルⅢ国内基準			
項　　目	令和6年9月期	令和7年3月期	令和7年9月期
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	**10,123**	**10,152**	**10,256**
出資金・資本剰余の額	330	330	330
利益剰余金の額	9,713	9,736	9,837
外部流出予定の額（△）	—	9	—
引当金等合計の額	79	96	88
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	**21**	**24**	**24**
無形固定資産の額	2	2	2
自己資本の額〔（イ－ロ）〕（ハ）	**10,102**	**10,127**	**10,232**
信用リスクアセット合計の額（ニ）	**53,976**	**50,221**	**49,463**
オンバランス取引項目の額	53,784	49,559	48,880
オフバランス取引項目の額	192	662	583
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額（ホ）	**2,297**	**1,960**	**1,960**
リスク・アセット合計額〔（ニ＋ホ）〕（ヘ）	**56,274**	**52,182**	**51,424**
自己資本比率〔（ハ）/（ヘ）〕	**17.95%**	**19.40%**	**19.89%**

自己資本比率 19.89%

我が国において、国内業務だけを行う金融機関の最低所要自己資本比率は4.0%（国内基準）であります。
当金庫の自己資本比率19.89%は、この基準を大きく上回り、業界内でも上位に位置し、経営の健全性、安全性を十分保っていると評価しています。



（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第１項において準用する銀行法第14条の２の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。
なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本の充実度に関する事項

（単位：百万円）

	令和7年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額※1
イ．信用リスクアセットの合計額	49,463	1,978
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー※2	49,687	1,987
現金	—	—
ソブリン向け※3	381	15
金融機関・第一種金融商品取引業者向け	13,302	532
法人等向け	16,892	675
中小企業等向け及び個人向け	4,476	179
不動産関連向け	5,713	228
劣後債権及びその他資本性証券等	1,501	60
延滞等向け※4	264	10
取立未済手形	13	0
信用保証協会の保証付	304	12
株式等	402	16
上記以外	6,435	257
他の金融機関の対象資本調達手段の内対象普通出資及びその他外部ＴＬＡＣ関連調達手段に該当するもの以外のものに該当するエクスポージャー	4,260	170
信用金庫連合会の対象普通出資等でコア資本に係る調整項目の額に算入されなかったエクスポージャー	701	28
特定項目のうち調整項目額に算入されないエクスポージャー	522	20
上記以外のエクスポージャー	950	38
リスクウェイトのみなし計算が適用されるエクスポジャー	78	3
他の金融機関の対象資本調達手段エクスポージャーでリスクアセット額に算入されなかった額	△ 302	△ 12
ロ．オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額※5	1,960	78
ハ．単体リスク・アセットの合計額及び単体総所要自己資本額（イ＋ロ）※6	51,424	2,056

※1. 所要自己資本の額＝リスク・アセット×４％

※2.「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

※3.「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門（当該国内においてソブリン扱いになっているもの）、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体のことです。

※4.「延滞等向け」とは、次の事由が生じたエクスポージャーのことです。
①金融再生法施行規則上の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」に該当すること
②重大な経済的損失を伴う売却を行うこと
③３か月以上限度額を超過した当座貸越であること

※5. オペレーショナル・リスク相当額は、当金庫は標準的計測手法かつLIMを「1」により算出しています。

※6. 単体総所要自己資本額＝単体自己資本比率の分母の額×４％

当金庫は「吉備国際大学シャルム岡山高梁」のチーム支援強化資金として高梁市に30万円を寄贈しました。

（2025.7.22：高梁市役所にて）

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の増減及び貸出金償却額

（単位：百万円）

	令和7年9月期				
	期首残高（令和7年3月末）	当期増加額	当期減少額		期末残高（令和7年9月期）
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	96	88	—	96	88
個別貸倒引当金	535	555	—	535	555

※洗替えによる取崩額

（単位：百万円）

	令和7年9月期
貸出金償却額	—

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

（単位：百万円）

信用リスク削減手法 / ポートフォリオ	令和7年9月期	
	適格金融資産担保	保　証
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー	800	3,620

（注）当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

信用リスクに関するエクスポージャー

（単位：百万円）

	令和7年9月期		
	信用リスクエクスポージャー期末残高		「延滞等」エクスポージャー※2
	貸出金、オフ・バランス取引※1	債券	
残高	47,664	30,396	1,215

※1．オフバランス取引はデリバティブ取引を除く

※2．「延滞等」とは、次の事由が生じたエクスポージャーのことです。

①金融再生法施行規則上の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」に該当すること

②重大な経済的損失を伴う売却を行うこと

③３か月以上限度額を超過した当座貸越であること

出資等エクスポージャーに関する事項

（単位：百万円）

	令和7年9月期	
	貸借対照表計上額※1	時　価
上　場　株　式	488	488
非上場株式等	913	913

※1．貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。

（注）投資信託等の裏付資産のうち出資等に該当するものは一括して上場株式に含めています。

金利リスクに関する事項

（単位：百万円）

項番		令和7年9月期	
		⊿ EVE	⊿ NII
1	上方パラレルシフト	3,308	164
2	下方パラレルシフト		0
3	スティープ化	2,745	
4	フラット化		
5	短期金利上昇	221	
6	短期金利低下		
7	最大値	3,308	164
自己資本の額（令和7年3月期）			10,127

⊿ EVE：金利ショック幅による経済的価値（EVE：Economic Value of Equity）の減少額

⊿ NII ：金利ショック幅による期間収益価値（NII：Net Interrest Incom）の減少額

金利リスクに関する事項については、平成 31年金融庁告示第3号（2019年2 月18日）による改正を受け、2019年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。

「中央支店」店舗移転のお知らせ

中央支店は、令和７年９月８日(月)より、新見営業部内にて店舗内店舗の形態で営業しておりますので、お知らせいたします。

移転後のお取引について

支店名・店番号・口座番号は変更ございません。

【移転後】

営業開始日：2025年9月8日

備北信用金庫　新見営業部内

〒718-0003　新見市高尾2482番地の1

本件に関するお問い合わせ　0867-72-4411

豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫

金融仲介機能の発揮の成果

⑴ 取引先企業の経営改善や成長力の強化

《当金庫がメイン金融機関として取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善が見られた先数及び同先に対する融資額の推移》

	7/3末
メイン先数	436先
メイン先の融資残高	118億円
経営指標等が改善した先数	183先

	7/3末	6/3末	5/3末
経営指標等が改善した先に係る３年間の事業年度末の融資残高の推移	45億円	55億円	80億円

※先数は単体ベース。　※経営指標は売上高増加率、就業者数を採用しております。

⑵ 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

《当金庫が貸出条件の変更を行った先の経営改善計画の進捗状況》

（7/3末）	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	39先	4先	3先	32先

※進捗を計測している指標：売上高、キャッシュフロー
※・好調先：120%超　・順調先：80%～120%　・不調先：80%未満　・経営改善計画のない企業は不調先に区分しております。

〈当金庫が関与した創業、第二創業の件数〉

	7/3月期
創業件数	10先

〈ライフステージ別の与信先数、及び、融資額〉

（7/3末）	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	578先	20先	17先	491先	21先	30先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	168億円	2億円	4億円	150億円	2億円	9億円

※対象：法人、個人事業主（当金庫が決算データを5期保有していない先（除く創業先）は含まれておりません。）
※ライフステージの区分
・創業期：創業、第二創業から5年まで　・成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超　・安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%
・低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満　・再生期：貸付条件の変更または延滞がある期間

⑶ 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

〈当金庫がメイン金融機関として取引を行っている企業の割合〉

	7/3月期
メイン取引（融資残高1位）先数	436先
全取引先数に占める割合	75.4%

金融仲介機能の発揮に向けた各種取組みの進捗状況

⑴ 事業性評価に基づく融資等、担保保証に過度に依存しない融資

〈地元の中小企業与信先のうち、無担保与信先数、及び、無担保融資額の割合　7/3末〉

地元中小企業与信先数 ①	地元中小企業向け融資残高 ②	無担保融資先数 ③	無担保融資残高 ④	無担保融資先数割合 ③／①	無担保融資残高割合 ④／②
578先	16,894百万円	404先	7,480百万円	69.89%	44.27%

〈地元の中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合　7/3末〉

地元中小与信先数 ①	根抵当権未設定先数 ②	根抵当権未設定先数割合 ②／①
578先	431先	74.56%

〈経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、地元の中小企業与信先に占める割合　7/3末〉

地元中小与信先数 ①	ガイドライン活用先数 ②	ガイドライン活用先数割合 ②／①
578先	89先	15.39%

〈地元の中小企業与信先数のうち、無保証のメイン取引先数の割合　7/3末〉

地元中小企業与信先数 ①	無保証メイン先数 ②	無保証メイン先数割合 ②／①
578先	66先	11.41%

〈中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き融資額の割合及び100% 保証付き融資額　7/3末〉

中小企業向け融資残高 ①	保証協会付融資残高 ②	100%保証付融資残高 ③	保証協会付融資残高割合 ②／①	100%保証融資残高割合 ③／①
16,894百万円	2,452百万円	1,335百万円	14.51%	7.90%

〈地元の中小企業与信先のうち、事業性評価に基づく与信先の割合　7/3末〉

地元中小企業与信先数 ①	地元中小企業向け融資残高 ②	事業性評価融資先数 ③	事業性評価融資残高 ④	事業性評価融資先数割合 ③／①	事業性評価融資残高割合 ④／②
578先	16,894百万円	178先	6,138百万円	30.79%	36.33%

⑵ 本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

〈本業（企業価値の向上）支援先数、ソリューション提案先数、メイン取引先のうちの経営改善提案を行っている先数　令和6年度計〉
〈販路開拓支援先数　令和6年度計〉

岡山県内における販路開拓支援	岡山県外での販路開拓支援
12先	12先

トピックス

「福祉車輌」の寄贈

金庫では平成11年３月から「福祉車輌の寄贈」を行い、今回は６台目としてスズキの「エブリイワゴン車いす移動車」を寄贈しました。愛称は『びしん福祉号』です。

2025年４月15日

「びしん経営者クラブ」セミナーの開催

びしん経営者クラブでは、定期的に「セミナー」を開催しています。今回は『村上紀子』氏を講師に、『経営に求められる「改善力」の高め方』と題して開催しました。

2025年７月18日

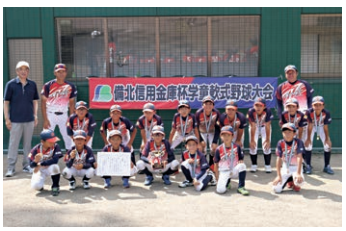
備中たかはし松山おどり「うちわ」の贈呈

金庫では毎年「備中たかはし松山踊り」の開催にあわせて「うちわ」を作成しています。デザインされた高梁城南高校の生徒さんに感謝状を贈りました。

2025年７月29日

「備北信用金庫杯学童軟式野球大会」の開催

高梁地区から４チーム、新見地区から３チーム、東備地区から８チーム、井笠地区から１チーム、合計16チームが参加し、第４回学童軟式野球大会が開催されました。２日間にわたり熱戦を繰り広げました。



2025年７月19日及び20日

店舗一覧表

本店営業部（下町支店）	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1	TEL.0866-22-2191	FAX.0866-22-0091
成羽支店	〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2	TEL.0866-42-2644	FAX.0866-42-2646
賀陽支店	〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2	TEL.0866-54-1335	FAX.0866-54-1336
北房支店	〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3	TEL.0866-52-3151	FAX.0866-52-3152
落合支店	〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3	TEL.0866-22-1500	FAX.0866-22-1526
新見営業部（中央支店）	〒718-0003 新見市高尾2482番地の1	TEL.0867-72-4411	FAX.0867-72-1895
正田支店	〒718-0013 新見市正田257番地の11	TEL.0867-72-0724	FAX.0867-72-0471
大佐支店	〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2	TEL.0867-98-2878	FAX.0867-98-2877
本部	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1	TEL.0866-22-2191	FAX.0866-22-7533
事務センター	〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7	TEL.0866-22-2192	FAX.0866-22-2791

＊下町支店・中央支店は本店営業部・新見営業部内へそれぞれ移転しました。（店舗内店舗として営業しています）

豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫

https：//www. shinkin. co. jp/bihoku/
〒716-0037 岡山県高梁市正宗町1964-1 TEL.0866-22-2191 FAX.0866-22-7533

この印刷は、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。
この印刷は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。
この冊子には再生紙を使用しています。
2025年11月発行